

表 ドイツとUAEが合意した水素関連の連携プロジェクト

分野	事業パートナー	プロジェクト内容
ドイツへの水素供給網構築およびテスト輸送	独エネルギー大手ユニパー、独水素技術企業 LOHCテクノロジーズ、アブダビ国営石油会社 (ADNOC)、JERAアメリカズ	水素輸送に関連する実証事業。液体有機水素キャリア (LOHC、注1) 技術により水素を液体化し、アラブ首長国連邦 (UAE) からドイツ北部ウィルヘルムスハーフェン港へのグリーン水素 (注2) の供給網の構築を目指す。短期的にはブルー水素 (注3)、その後間もなくグリーン水素を利用する予定。
	独エネルギー大手RWE、独銅条メーカー大手アウルビス、独エネルギー関連エンジニアリングSTEAG、独エネルギーサービスGETEC、ADNOC	ドイツへのブルーアンモニア (注4) の初めてのテスト輸送事業。将来的には水素や関連製品の輸送を目指す。
	独ハンブルク港ロジスティクス (HHLA)、ADNOC	ドイツへのブルーアンモニア輸送網の整備事業。
航空燃料 (合成ケロシン) 製造	独エネルギー大手シーメンス・エナジー、独ルフトハンザ、UAE再生可能エネルギー関連マスタードール、その他	航空の脱炭素化を実現するため、「グリーン・ファルコン」と呼ばれる航空燃料 (合成ケロシン) の製造事業での連携。
エネルギー転換および水素に関する研究協力	独フラウンホーファー研究機構、UAEエネルギー・インフラ省	UAEの国家エネルギー戦略に関するアドバイス、研究インフラの構築支援、持続可能なエネルギーや応用水素技術分野の共同プロジェクトを含む協力合意。

(注1) 液体有機水素キャリア (Liquid Organic Hydrogen Carriers) の略。化学反応によって水素を吸収・放出できる有機化合物。

(注2) 再生可能エネルギー由来の電力を利用して、水を電気分解して生成される水素。製造過程で二酸化炭素を排出しない。

(注3) 化石燃料を原料とする水素。ただし製造過程で発生するCO2を炭素回収・貯留 (CCS) または炭素回収・有効利用・貯留 (CCUS) 技術を使用して回収し、有効利用または地中に貯留する。

(注4) 化石燃料を原料とするアンモニア。ただし製造過程で発生するCO2を炭素回収・貯留 (CCS) または炭素回収・有効利用・貯留 (CCUS) 技術を使用して回収し、有効利用または地中に貯留する。

(出所) 経済・気候保護省よりジェットロ作成